

会員数	40,321	(前月比) +	15
郵送	9,127	(前月比) -	41
手配り	28,091	(前月比) +	119
協同基金到達額	2,585,790,000円(1/31現在)		
	[前月比 664,000増]		
協同基金出資者数	21,306名(1/31現在)		
いのちを守る助け合い募金額	2,397円(1/1~31)		



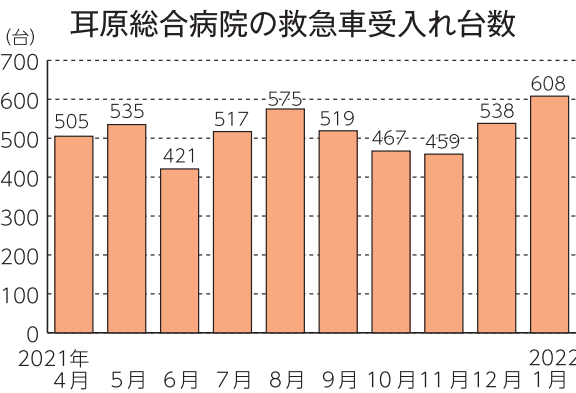
発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部30円

明けない夜はありません

これからの「みみはら」をみなさんとともに

健康友の会みみはら 会員のみなさんへ

社会医療法人同仁会 理事長 田端 志郎



健康友の会みみはらの会員のみなさん、こんにちは。みなさん、お元気にお過ごしでしょうか。楽しみにしていた理事長の「たまり場訪問」も、オミクロン株のまん延により、再び中止になってしまい、とても残念です。友の会の活動も、一旦ほぼ全てが中止となり、みなさんも寂しい思いをされているのではないのでしょうか。

このような時、大切になるのは、一人ひとりの心の健康を保つことです。不安に思うことは自然な反応です。感染情報の取り過ぎを避け、自分のペースを大切に、頑張っている自分を誉めてあげましょう。睡眠をしっかりととり、美味しい食事を楽しみましょう。一日に何回か活動の始まりに、深呼吸をするのも効果的です。

同仁会の全ての事業所は、いま最大の危機管理体制で新型コロナウイルスの診療に全力を上げています。耳原総合病院では、コロナ専用病床をフルオープンさせていますが、ほぼ全てが埋まっております。中には人工呼吸器を着ける重症患者さんも発生しています。各クリニックでの「発熱外来」は、すさまじい数の患者さんが受診されており、夜になっても、対応が終わらない状況です。そのような大変な中でも、コロナ患者さんに電話しての病状把握、行政と連携してのパルスオキシメーターの貸し出し、往診してのコロナの飲み薬の投与など、地域を守る医療活動を行っています。

介護事業所では、濃厚接触のた

私たちは、友の会のみなさんといつも一緒にいます。明けない夜はありません。これからの「みみはら」を、ともににつくっていきましょう。

(理事長のビデオメッセージより「抜粋」)

同仁会・「友の会」は 最大の危機管理体制で 新型コロナ対応に全力をあげています



遠く池田市からの救急受入れも



検査後の電話対応 (鳳クリニック)

【総合病院】
これまでにない数で職員に感染者、濃厚接触者が出て病院も「満身創痍」の状態ですが、患者さんを守り、地域の救急を守るため、奮闘しています。

オミクロン株による感染拡大で、大阪府は1日の新規感染者が1万人を超える日が続いています。堺市内だけでも1500人を超える日が相次ぐなど、医療・介護職員の感染者や濃厚接触者になったことによる休職が増え、「医療崩壊」が危惧されています。

近隣の医療機関が、救急や外来受入れを制限する中、耳原総合病院をはじめとした同仁会の事業所では、職員の必死の奮闘によって受入れを継続しています。

聴診器

昨年、投打の「二刀流」で活躍したエンゼルスの大谷翔平選手に、日本の野球ファンは大いに沸いた。注目を集めたのは、同じく投打の「二刀流」で活躍した伝説の名選手、ベーブルースの持つ記録に迫ったからです。▼そのベーブルースが1934(昭和9)年「日米親善野球」のメンバーとして来日し、こちら全日本チームには、のちに結成したプロ野球の川上(巨人)や藤村(阪神)そして、あの沢村賞の沢村投手(巨人)も活躍しています。▼しかし1941年、日本の真珠湾奇襲で太平洋戦争が勃発。親善野球から一転して戦争へ向かったことに、日米双方の選手は複雑な思いをしたことと思います。沢村にも赤紙が届き、終戦1年前に戦死。アジア太平洋戦争では、プロ野球選手75人が命を落としています。▼岸田首相はこのような過去の歴史に目をつむり、「敵基地攻撃能力」の検討を言い出しました。これは相手国の領域にまで乗り込んで、ミサイル基地をしらみつぶしに攻撃し、地下施設も含めて、大規模に破壊するというものです。先制攻撃そのもので、相手国の反撃を呼び、全面戦争に発展しかねない極めて危険な道です。平和憲法を活かした外交交渉の力を発揮すべきで、「憲法9条守れ!!」の運動を一段と拡げたい。(八田兄一)